

教科	工業	科目	繊維・染色技術	単位数	2	学年	2 学年
学科	繊維デザイン	コース		教科書	新版テキスタイル技術（実教出版）、新版カラーリング技術（実教出版）		
副教材							
学習 目標	繊維製品の製造技術と染色技術に関する基礎的な知識を習得する。また、それを活用する技術と態度を養う。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知技	思判表	主体	
1 学期	4 月	色彩と人間生活 色彩と生活・カラーリングと染色加工	生活と色彩のかかわりを工業製品を通して探求し、あわせてカラーリング技術について学ぶことができる。	◎	○	○	
	5 月	色彩の科学 三属性による色の表示方法	色彩について学ぶことができる。	◎	○	○	
	6 月	素材 テキスタイル素材・色素材料	繊維や色素材料の基本的性質や化学構造などについて学ぶことができる。	◎	○	○	
	7 月	染色の基礎化学 炭素化合物 染色の物理化学 染色助剤の化学	染色現象を考える基礎知識を学ぶことができる。	◎	○	○	
	7 月	染色加工 精練・漂白 浸染 セルロース繊維の染色 浸染 たんぱく繊維の染色 浸染 半合成・合成繊維の染色	糸・布などの繊維製品に様々な色をつける技術を学ぶことができる。	◎	○	○	
2 学期	8 月	機能性をもったテキスタイル 処理加工・特殊仕上げ加工によるテキスタイル	高機能加工の様々な加工法について学ぶことができる。	◎	○	○	
	9 月	プリント技術 なせん・印刷	テキスタイル・紙・金属などに模様をつける技術を学ぶことができる。	◎	○	○	
	10 月	工芸染色 工芸染色の分類	代表的な工芸染色について学ぶことができる。	◎	○	○	
	11 月	生活とテキスタイル技術 人間の歴史と繊維 繊維技術の歴史	人間の生活を豊かにしてきた繊維や織物の歴史について学び、学ぶ意欲が高まる。	◎	○	○	
	12 月	糸の製造 紡績の基礎、綿糸紡績 フィラメント糸の製造 意匠撚糸と加工糸の製造	素材の特性に応じた糸の製造方法について学び、糸の特性の理解を深める。また、糸の分類や呼称についても理解を深める。	◎	○	○	
	12 月	織物の製造 織物製造の基礎、製織の準備 主運動について その他の運動および装置 織物設計法	織物の製造方法やその準備について学び、織機運転やメンテナンスの技術につなげる。 織物設計法について学習し、身の回りにある織物の製造方法を調べることができる。	◎	○	○	
3 学期	1 月	ニットの製造 ニットの概要	様々な布の製造方法を理解し、布の特性と関連付けることができる。 さらに、布の特性に応じた使用方法を学ぶ。	◎	○	○	
	2 月	その他の布類の製造 組み物およびレース 繊維二次製品の縫製とその活用方法					
	3 月	不織布、被服の条件 アパレル製造					
	3 月	品質管理 加工、品質管理の基礎					

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	定期考査、出席状況、提出課題、授業態度・意欲による総合評価
------	-------------------------------